

ひがし

No. 217

'5312 / 20

人口の動き

世帯数	952
人口	3,867
転入	6
転出	7
出生	2
死亡	3
先月と比較して	1人減
昨年と同月と比較して	71人減

しらかわ

■ 発行 岐阜県加茂郡東白川村 ■ 編集 / 企画広報課 ■ 印刷 / 関市中部印刷所

私のタイム どうかしら

コース選択自由
予想タイム制とい
う新しい試みで行
われた第2回村民
マラソン大会。

参加者たちは、
自分の予想タイム
を目指して走って
いました。

—3キロコースで優勝した村
雲英子さん（平）

12月10日禰土小学校にて

主な内容

- 今年1年の動き… P2～3
- 歯科アンケートの結果 …P4～5
- 村民運動会などのもよう ……P6
- 寄稿—シベリア感情施行記 ……P7
- 歳末たすけあい運動 …P8
- 年末年始の交通事故防止 ……P9
- 寄稿—私の読書生活 …P10
- 工業統計にご協力を …P11
- 似てるかな ……P12
- 村誌編さん室だより …P13
- トピックス ……P14
- けいじ板は P6～8の下欄



写真でみる



「円高」と「不況」で明けた昭和五十三年は、いろいろな施策にもかかわらず好転しないまま余すところあとわずかとなりました。
 村では今年一年多くの事業が行われましたが、本号ではカメラの目を通してもう一度ふりかえりこれからの発展をいっそう期待したいと思えます

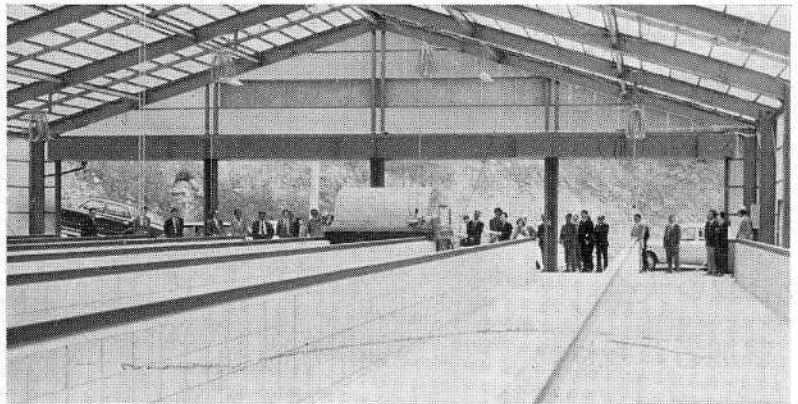


△5月4日神土製茶工場竣工式

120キロ3ライン方式で、従来の2倍以上の能力を誇り、県下一の規模として注目を集めた神土製茶工場（神土中通地内）が完成。5月4日その竣工式が行われた。

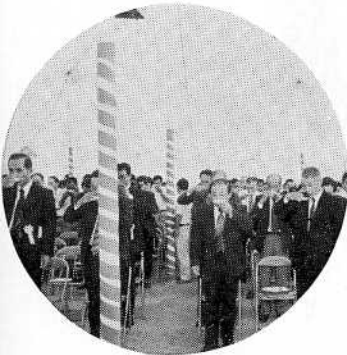
▽5月16日畜産有機プラント完成

畜産公害の防止と耕種農家の土作りの両面に期待をかけた畜産有機プラント（ふん尿酸醗酵処理施設）が神付地内に完成。



△工事中の安全を祈願してくわ入れする村長

▽乾杯で着工を祝う関係者ら



▷9月18日東白川小学校建築起工式

昭和五十五年四月開校を目指す東白川小学校は、九月十八日に建築事業起工式の後工事に着手した。現在学校食堂の基礎工事が進められている。





◁8月3～9日成人病予防検診

「健康はみずからの手
でつかむもの」と行っ
ている、年に一度の成人病
予防検診は、8月3・4
・5・7・8・9日の6
日間行われ、1,083人が
受診し約90%の人が健康
を確認。

▷11月3日村民運動会

秋晴れの総合運動場に、子供からお年寄りまで
1,500人余りが参加して、第6回目の村民運動会
が盛大に行われた。

▽11月12日文化講演会

第9回文化講演会は雑誌「酒」の編集長佐々木
久子先生を招き、体育館で開催された。



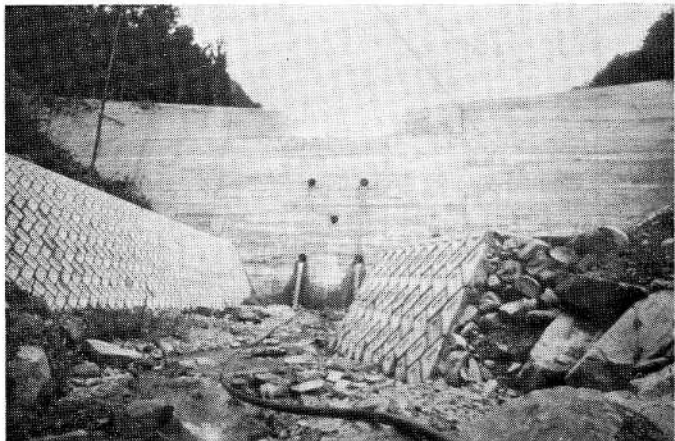
▽9月29日歌舞伎公演

昨年26年ぶりによみがえった郷土歌舞伎公演
は、今年も「伽羅先代萩」など三芝題を上演。



▽大口砂防えん堤完成

大口地内で建設が進められていた砂防えん堤工事は、2年がかりで
完成。延長66m、高さ10.5m、貯砂量8,277.3m³の大きさで、大雨な
どによる土石流を食い止め災害を防止します。



今年
二年
の
動き

育児に問題が

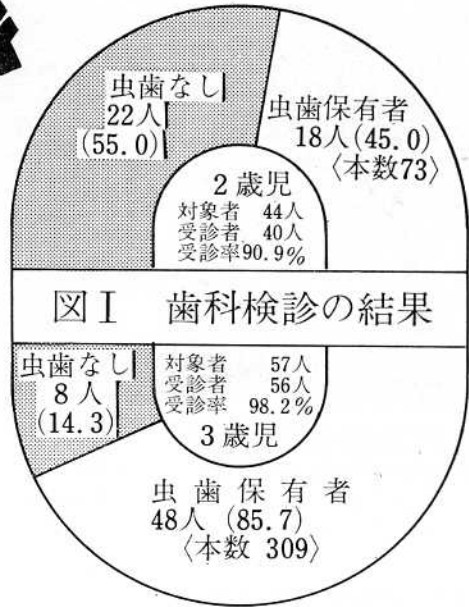
アンケートの結果から

村ではあらゆる機会を通して虫歯予防を呼びかけていますが、今年二歳児・三歳児の歯科検診と併せて行った「虫歯予防アンケート」の結果から、今一度虫歯予防について考えてみましょう。

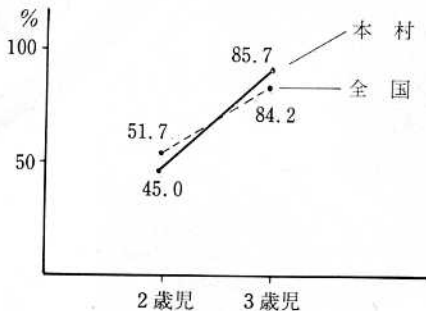
また、虫歯から病原菌が侵入して心臓病や腎炎などを併発することなど数えあげたらきりがありません。

成人以上には健康に対する影響は大きなものがあります。例えば、虫歯があるために食べ物を十分かむことができない、痛んで食欲が減ったり偏食になったりして発育が悪くなる。

食生活が変化してきたためか、最近、乳幼児の虫歯が急増傾向を示しています。これは、乳歯は生え変わるといふ安易な健康管理にあるかもしれません。



図Ⅱ 虫歯保有率の全国対比



二〜三歳にかけて急増傾向の虫歯

まず受診状況を見てみると、図Iでわかるように二歳児では四十八人中四十人、三歳児では五十七人中五十六人が受診し、それぞれ九割を超える受診率を示しています。

このことから子供の健康に対する親の熱心さが感じられます。

歯科検診の結果では、二歳から三歳にかけて虫歯が急増しているようですが、これを全国の統計と比べてみたのが図II・図IIIです。

これによると、虫歯の保有率は全国並みで一人当たりの虫歯保有数では全国平均を下回っている反面、二〜三歳にかけて急に保有数保有率ともに高くなり、全国平均

に比べて急増傾向を示しています。

図IIの全国値は昭和四十八年の統計ですから、現在の値はもう少し高くなっていると思われませんがそれにしても、本村の場合二〜三歳にかけての育児に問題があると考えられます。

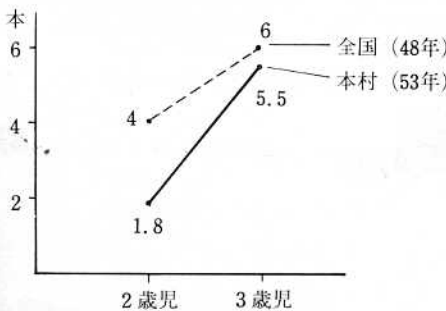
おやつとの与え方と虫歯は関係する

虫歯は関係する

しつけの一つである歯みがきについて調べてみますと、図IVでわかるように二歳児で二十七人(六七・五割)、三歳児で四十五人(八三・三割)が歯みがきを実行しています。

二〜三歳になるにつれて、歯みがきの習慣をつけている家庭が多

図Ⅲ 一人当たりの虫歯保有数



図Ⅳ 歯みがきの可否

2歳児	みがいている 27人 (67.5)	いない 13人 (32.5)
3歳児	45人 (83.3)	9人 (16.7)

答なし2

図が前後しますが図VIは、おやつの時間を決めておくか否かと、虫歯保有数の関係を表わしたものです。明らかにおやつとの時間を決めていない幼児の虫歯保有数が多く、不規則にだらだらと食べ物を与えることが虫歯の原因であることを示しています。

「おやつの時間を決めていますか」という質問に対して、「決めている」と答えた人は二歳児で十七人(四三・六割)、三歳児で二十人(三六・三割) (図V)で、大きくなるにしたがっておやつの与え方は不規則になる傾向にあります。

くなっています。虫歯は増えるいっぽうなのはなぜでしょう。これはおやつとの関係もありそうです。

2~3歳の

歯に関する

虫歯予防は

親の心がけしだい

お母さんたちの虫歯予防に対する姿勢をみてみると……。

「虫歯予防に何か心がけていますか」の質問を、二歳児と三歳児で比較したのが表Ⅰですが、「心がけている」と答えた人は二歳児で二十六人（六五割）、三歳児で三十一人（五六・四割）と先ほどのおやつとの与え方と同様、二歳よりも三歳の方が少なくなっています。

虫歯予防の心がけと虫歯保有数の関係を図Ⅶで表わしましたが、これによりますと、やはり虫歯予防に心がけていない方が虫歯の保有数が多い傾向を示しています。このことは、親の姿勢が虫歯予防に関係していることを物語っています。

います。

アンケートの結果から以上の傾向がみられました。

我が子を

虫歯から守ろう

虫歯は細菌と歯質、食物の三つが重なって発生するといわれています。

歯についた食べかすが口の中の細菌によって酸となり、これが歯を溶かして虫歯を作ります。

そこで、虫歯を予防するには口の中の細菌をなくしてしまいうことが基本ですが、これはいつも口の中に存在するものですからすっきりなくしてしまいうのは不可能です。細菌が酸を作らないようにするしか手はありません。

それには、まず歯が好む砂糖分をとらないこと、そして砂糖分や食べかすが歯の周囲に附着しないよう、飲食後に口すすぎや歯みがきなどをして口中を清潔にすることです。

子供たちが好むお菓子は、甘くやわらかいものが多く、これらは砂糖分を多く含みそして歯に附着しやすいものです。

おやつを与えるときには、このことを十分考えた上で与えたいものです。

その次は強い歯質を作ることです。丈夫な歯を作るには、乳歯が形成される妊娠中と、永久歯が形成される乳幼児期に歯に必要な良質

のた んば く 質 カ シ ム ビ タ ミ ン の 栄 養 素 を 多く 含ん

表1 虫歯予防に対する姿勢

	心がけている	心がけていない
2歳児	26人 (65.0)	14人 (35.0)
3歳児	31人 (56.4)	24人 (43.6)

3歳児で 答なし1人

だ食品をとることが必要です。そしていちばん大切なことは、お母さんたちが虫歯を作らないという強い育児姿勢を持ち、積極的に実行することです。

次のことは、虫歯が一本もない幼児のお母さんたちが実行している例ですが、特にむずかしいことではありません。ちよつとした心がけのできることでと思います。小さな子供さんを持つお母さんたちは、明日といわずさっそく今月から始めてみてはいかがでしょう。

- ① 甘いものを与えない。
- ② 食べた後には口すすぎさせる。
- ③ 小魚類などカルシウムの多い食品をとるよう心がけている。
- ④ 食後にリンゴを食べさせる。
- ⑤ 寝る前には食べ物を与えない。
- ⑥ 夜の歯みがきは、お母さんが点検する。

図Ⅶ 予防姿勢と虫歯の関係 (3歳児)

心がける	6人 (19.4)	13人 (41.9)	7人 (22.6)	5人 (16.1)
虫歯数	0	1~4	5~9	10~
心がけていない	2人 (6.3)	8人 (33.3)	9人 (37.5)	5人 (20.9)

図Ⅵ おやつとの時間と虫歯の関係 (3歳児)

決める	6人 (30.0)	10人 (50.0)	2人 (10.0)	2人 (10.0)
虫歯数	0	1~4	5~9	10~
決めていない	2人 (5.7)	11人 (31.4)	14人 (40.0)	8人 (22.9)

秋たけなわ

村民運動会など盛大に

十一月は、スポーツ・文化などたくさんの行事でいっぱいです。冬將軍の訪れを前に、今年六回目を迎えた村民運動会をはじめ、文化講演会と映画会、千秋流恵那支部の秋期生け花大会、芸能発表会などが行われました。

盛り上げたい

村民運動会

恒例の村民運動会は、晴天に恵まれた十一月三日、総合運動場に約千五百人の選手役員、観衆が参加し盛大に行われました。



△ 仮装連続6回出場の安江登巳郎さん(上親田)

前回までの反省事項をもとに、時間の短縮、スムーズな運営、新しい種目の追加など関係者の苦勞が多かったようですが、これに反し参加者が例年より少なかったことは残念です。一年一回、村内の約半数が集まる

大きな行事として、今後いっそう盛り上げたいものです。

また、第九回文化講演会と映画会は、十一月十一日東白川体育館に約五百五十



▷ 四百点以上が出品された千秋流生け花大会

人を集め午後一時三十分が開演。講師として招いた雑誌「酒」の編集長佐々木久子先生の「日本人の心をたずねて」と題したユーモアたっぷりの講演に、場内は魅了されました。

にぎわった

千秋流生け花大会

この日は例年に比べ、男性が多く酒と縁の深いことを物語っていました。講演は午後三時三十分を終了し続いて上映された「風林火山」の映画会で一日の幕をとじました。

した。

また、十一月二十三日には村民センター大集会室で芸能発表会が開かれ、村の文化協会に所属している、東白川民踊クラブ・木せい会・詩吟クラブ・三味線クラブ・民謡教室の五クラブが、それぞれ日ごろ練習した成果を発表しました。

最後に「花笠音頭」を三味線クラブの伴奏で民謡教室が歌い、そして東白川民踊クラブ・木せい会が踊るという趣向を凝らした催しもありました。

このほかにもスポーツ行事や文化行事がたくさん行われていますが、今後よりいっそう盛りあげ、一人でも多くの方が参加できるように、そして「明るい村づくり」の源となるようにみんなで考えたいものです。

ひがしはら

■ 戸籍の窓



誕生おめでとう
ございます。

(十月)

(下親田) 安江 正徳 (美佐紀)

澄江 (二女)

(十一月)

(西洞) 今井 芳幸 (小百美)

御幸 (長女)

(栃山) 安江 好成 (将利)

千恵子 (長男)



いっまでも
おしあわせに

(十月)

今井 章治 (大沢)

今井 豊子 (白川町)

野村 秀夫 (久須見)

今井つね子 (平)

(十一月)

安江 勲 (平)

小栗 啓子 (瑞浪市)

今井日出明 (下野)

田口太恵子 (平)

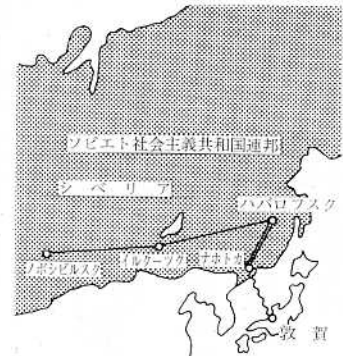
土屋 茂 (七宗町)

安江 越子 (陰地)



おくやみ
申しあげます

シベリア感情旅行記



神 付
安 江 宏

訪ソ青年の船実行委員会が主催した。昭和五十三年度訪ソ「青年の船」に、神付の安江宏君が県下三十一人の中に選ばれ、七月二十七日から八月八日までソビエトを訪れました。その手記を数回にわたり紹介します。

七月二十七日、午後一時福井県の敦賀港を出発して、シベリア地方の主要都市を二週間余り見てまわった訪ソで、その日その日に感じたことを書いてみました。

私が見たこと、聞いたこと、そして感じたことですから、正確なことからは遠く、また、旅行での体験は幅が狭く内容も十分ではないかもしれませんが、「シベリア」というところは、そんなところなのか。と、少しでも多くの人に理解していただけたら幸いです。

◇ 出発前まで、国情の異なる社会主義の国へ行くということで、不安や期待もたくさんありましたが前評判に反して船は定刻に出発し、敦賀・ナホトカ二十八時間の船の旅は、天候にも恵まれ快適でした。

港で乗ったソ連船ブリアムーリエ号(五千トン)が長い航海の後、

ナホトカの方へ頭に着いたとたん安心感でいっぱいでした。

◇ 税関検査を済ませて甲板へ上ってみると船はもう岩壁に近づいていて船と岩壁の距離はちぢまり陸地が吸い寄せられるように大きくなつた。

そして、下を見ると港には二三百人の人が出迎えに出て、こちらを見上げていました。それはまさに「花

が咲いた」という感じでした。女性の服装は色とりどりで、赤色のワンピース・水色花模様のブラウスなど、灰色のコンクリートの地面から浮かび上がっているようにした。

まさか私たちの出迎えにやって来たわけではないだろう。と思いなながらも、悪い気はしませんでした。後で聞いた話によると、この町の人たちにとって出迎えというのは、儀式であると同時に娯楽でもあるようでした。

午後五時を少し過ぎたころ、下船開始。船から陸地に渡された橋

▽ 民族舞踊で歓迎してくれた



に立つと、日本のボーイスカウトのような服装をしたピオニールと呼ばれる少年たちが、口ぐちに「ズラーストウイチェ」(こんにちわ)と元気のいいかけ声で私たちを迎えてくれました。

◇ 船頭の奥にある広場には演壇があり、日本の各団体の団長(六コニス六人)はその上にあげられ、ナホトカあげての歓迎にこたえて総団長が代表であいさつをしました。

その後、民族舞踊や民謡など数多くの出しもので歓迎してくれました。 つづく

- 村雲ちと江 27歳(中谷)
- (十一月)
- 安江 義一 85歳(大沢)
- 今井すとの 83歳(大口)
- 安江 鈴郎 72歳(柏木)
- 善意の寄付紹介(敬称略)
- (東白川小学校施設整備費へ)
- 現金十五万円
- 一 村雲義英(中谷)
- (神土小学校へ)
- ボラロイドカメラ一台
- 昭和五十二年卒業生
- 児童図書・エアールポット二
- 五十二年卒業生・PTA
- ぞうきん百五十六枚・スリッパ
- 二十足 神土婦人会
- 竹ぼうき十五本 寿会
- お茶(一斗かん)
- 下親田 安江 誉
- カラテレレ
- 下野 寺坂はまゑ
- 鉄パイプ製脚立一
- 上親田 村雲規造
- はく製ハカブシギ一
- 上親田 安江康助
- (越原小学校へ)
- スチールだんな・お話しテープ
- 七 昭和五十二年卒業生
- 時計一 転退職員(三品進・森
- 嶋智子・水谷正臣・田上亜矢子
- ・今井由里子)
- こい六尾 陰地 松岡 諄
- 竹ぼうき十五本 寿 会
- 草花(苗) 日向 田口安幸
- 図書チャイルドクラフト全十五
- 巻 名古屋市 安江恒一

ご協力お願いします

歳末たすけあい運動



「みんながそろって明るいお正月をVをスローガンに、今年も恒例の「歳末たすけあい運動」が、十二月いっぱい繰り広げられています。

この運動は、赤い羽根でおなじみの共同募金運動（十一月）の一環として、十二月に限って行われるもので、運動の進め方は、民生委員などが中心となって実施される「地域歳末たすけあい」とNHKがテレビ・ラジオを通して全国的に呼びかけ

る「NHK歳末たすけあい」の「二本立て」となっています。恵まれない方に善意の募金を一みんなそろって明るいお正月を迎えられるよう、みなさんのご協力をお願いします。

恩給法など改正 該当者はお早めに申し立てを

恩給法と戦没者等遺族援護法が次のように改正されました。

□恩給法

旧軍人として一回の兵役期間（实在職年）が3年未満でも、再召集による3年未満の实在職年を合算すれば3年以上になる場合は、これまで一時恩給の対象外とされていましたが、このたびこれらの方に対しても1万5千円の一時金が支給されることになりました。

該当する方は、普通恩給または一時恩給を受けることができない方、およびその遺族ですが、村ではこの該当者はわかりませんから個人への通知はできません。該当者が申し立てをされない限り一時金は支給されません。該当すると思われる方は、お早めに「履歴申立書」を役場へ提出してください。

（履歴申立書は役場にあります。）

□戦没者等遺族援護法

遺族年金および遺族給与金が、先順位者1人の場合について現行の年額72万円が、今年4月から77万円、6月から85万2千円に増額になります。

また、支給期月は従来は年2回と定められていましたが、毎年1月、4月、7月、10月の4回になりました。

そのほか、恩給法・戦没者等遺族援護法の改正についての詳しいことは、役場民生課へおたずねください。

名古屋女子大学理事長・越原

公明先生が、今年秋の叙勲で教

育功労者として勲

三等旭日中綬章を

受章されました。

越原先生は、越

原春子氏が設立さ

れた越原学園を継がれ、幼稚園

から大学までの女子の一貫教育

に専念されると同時に、全国私

叙勲記念に百万円を寄贈

勲三等旭日中綬章の越原先生

たびの叙勲に輝かれたわけです。

先生はこの叙勲を記念して、本

村に建設中の東白川小学校の施設

立短大協会副会長として数々の私学振興に貢献された功労が、この

整備資金にと百万円をご寄贈く
ださいました。

村では先生の

ご厚志にそって

仲よし広場に大

壁面を設置する

ことにしました

五十五年四月の新しい学校開

校と同時にこの大壁画がお目見

えすることが楽しみです。

教育功労者の表彰

野村校長ら四氏

第三十回岐阜県教育功労者の表彰式が十一月十八日県庁で行われ、永年学校教育のために尽くされてきた次の先生がたが表彰されました。

野村正先生

内木みき先生

永田静雄先生

今井辰男先生

けいじばん

（五加小学校へ）

竹ぼうき三十五本 寿会

お茶三器 柏本 安江益良

ます 五加漁業組合

ます・金魚・金魚槽

柏本 三戸つり具店

（東白川中学校へ）

灰ざら三十 平 青山吾郎

掛け時計一・会議机三・おりた

たみイスト

昭和五十二年卒業生

天幕一張

国土緑化岐阜県推進委員会

図書七冊 下野 今井八十巳

ぞうきん百枚・スリッパ二十足

神土婦人会

竹ぼうき十五本 寿会

サッカーボール七・バスケット

ボール二・バレーボール二・バ

トミントンセット二・空気入れ

ポンプ一・ボールネット入れ一

・競技ブック一

教育設備助成会

丸型温度計二 日本電装

■有線電話新設のお知らせ

今井 章治（大 沢）三九四四

今井日出明（下 野）二〇二八

安江 房好（黒 渕）三五八八

丸土土木事務所（上親田）

二八〇〇

尾森材木店（上親田）二八二〇

今井 和博（陰 地）三二七一

東白川産業（加舎尾）三〇六〇

山田土建製材部（中通）二八九九

大坪 まさ（曲 坂）三三四八



△中学校前の通勤通学風景

みんなそろって明るい正月 年末年始を無事故で 年末年始交通事故防止運動

岐阜県交通安全対策協議会では年末年始のあわただしさや、交通量の増加、正月の開放感などから交通事故の多発が予想されるため県民が一体となって交通安全知識の高揚、正しい交通ルール実践の徹底などを目的に、十二月十五日から昭和五十四年一月十五日まで「年末年始交通事故防止運動」を展開します。

子供や老人には

家庭教育も必要

運動のスローガンは「無事故で年末・笑顔で年始」。重点項目には、歩行者と自転車利用者、特に子供と老人の交通事故防止をはじめ、飲酒・無謀運転の絶滅、シートベルト・ヘルメット着用の推進が掲げられています。

歩行者や自転車利用者の中で、特に子供や老人は交通弱者といわれており、何としても守りたいものです。とはいっても無理な横断や急なびし出しをされては、ドライバーがいくら注意していてもどうにもならないこともありま

正しい交通ルールの手本を示してわかりやすく説明したり、時にはつき添うなどの配慮がほしいものです。

飲酒・無謀運転は

運転者のマナーの問題

飲酒・無謀運転の絶滅は、家庭や職場などあらゆる機会を通して呼びかけることが必要です。もちろん、いちばん大切なことはドライバー自身のマナーです。

シートベルトの着用やヘルメットの着用も同じことがいえます。人にいわれてシートベルトやヘルメットを着用するようなことはいけません。自分自身を万一の危険から守るためのものです。

◇ ◇

飲酒運転で人身事故を起こしてしまった場合には、相手やその家族はもちろんのこと、自分自身を

れに家庭までも暗くしてしまふことでしょうか。

道路交通法が十二月一日から改正され、こうした事故を起こせば免許は取り消しとなります。「国民皆免許」といわれ、車がなければ生活が成り立たないほどのこの時代では免許取り消しは生活に大きな影響を与えます。

「ちよっと一杯ぐらい...」の気のゆるみが最も危ないのです。家庭では、酒を飲んだ家族や来客には絶対に車を運転させないという強い態度が必要です。

街頭指導や

取り締りを実施

この運動期間中は、東白川村交通安全協会役員や交通安全補導員が、村内各所で街頭指導を行うほ

酒酔い運転の多い時期
乗るなら飲まずな



か、加茂警察署の年末年始特別取り締まりも随時行われます。家族みんながそろって明るく楽しいお正月を過ごすことができるよう、村ぐるみでの運動を盛り上げたいものです。

早川彰一さんら248人

優良運転者の表彰伝達

昭和五十三年度の優良運転者として、早川彰一さんほか二百四十八人の方が表彰され、その伝達式が去る十月十五日村民センターで行われました。

長年の運転経験があり、しかも無事故無違反の優良運転者の中で全日本交通安全協会会長表彰の緑十

字銅章を受けられた黒瀨の早川彰一さんは、濃飛バス運転手として就職以来今までの長年にわたって無事故無違反の輝かしい成績を保っておられます。

表彰されたみなさんは次のとおりです。(敬称略)

◎緑十字銅章 早川彰一(黒瀨)

◎優秀章

桂川道夫(陰地)
今井秋男(日向)

◎優良章

菊田丑夫(平)
田口稔(平)
安江 林(上親田)

◎模範章

今井富夫(平)
古田芳一(平)
今井 登(平)

◎地区模範章

安江 進(大口)
ほか百九十七人

生活の読書



黒 洲
安 江 昭 子

県立図書館、中日新聞社などが募集した、昭和五十三年度読書感想文コンクールに、黒洲の安江昭子さんが応募、奨励賞にみこと入賞となりました。
十一月二十八日に岐阜県産業会館で開かれた、第十八回読書推進大会の席上で表彰されました。
ここで入賞作品を紹介します

担任の先生から借していただいた「冬の旅」の本を読んでから今まで忘れかけていたものが再びよみがえってきたような気持ちになりました。

結婚以来十年という長い間、暮らしきものを読むこともなく、生活に追われるままに過ごしてきましたが、この「冬の旅」を読んだからは読むことに自信がつき、思いついて本屋さんに出かけてみました。

新しいインクの香りのする本がズラリと並んでいて急に若返った気分になり、胸を躍らせながらあちこち本をさがしました。

昔読んでた本の中から、もう一度読んでみたいと思った本を六冊ばかり買って帰り、仕事の合間に少しづつ読んでみました。

「献身」「女であること」「体の中を風が吹く」「命ある日」「風立ちぬ美しい村」「斜陽」の六冊です。

どの本も一度読んだはずなのに結婚十年目を迎えた今読むのでは、受けとめ方が全然違うことにおどろかされました。

一冊読み終わるごとに、自分の生活に新しい光となって差し込んでくるような、心が広く明るくなってきたような気がしてきました。

母親としてばかりでなく、妻として、女として、いつまでも自分を失うことなく、子供といっしょ

に青春の日々を思い出し、なつかしく語り継いでいけるような人生でありたいと思いました。

それには、一冊でも多くの本を読んでもかたいとしみじみ思うこの頃です。

「献身」それは、子供たちに対して無限の愛の形でありたいと思います。与える愛の強さは押しつけであってはならず、与えても与えても自分からっぽにならないうい

つも自分のうちに明りをともし続けられる人でありたい……と。

先日、登校前のひととき、ふと子供が「わたし、お母さんの子供に生まれてきて良かったワ」と、まじめな顔でいうのです。

私は、何もいえず両うでの中にしっかりと子供をだきしめていました。

自営業のため、夜もおそくまで働かなければならず、子供たちには思うことの半分も見えあげられなくて、母親としての責任をどこ

でどのようにカバーしたらいいのかわからないのに、思いがけない思いやりの心に触れることができ、涙がでるほどうれしく思いました。

こんなになおな「心」で「目」でみていくのだから、この心に反するようなことは許されません。

「お母さん大好き」と、いつ

までもいつてもらえるよう努力しなければ、と気持ちをひきしめました。

人間が、より人間らしく生きることにむずかしさを「冬の旅」で知りました。

行動少年は、このことを守らんがために二度までも少年院で生活することになりました。少年院で過ごした青春の日々が、少年の心にはマイナスとなつては残らなかつた。

その生き方は、そのまま私の生活の中に一つの道しるべとなって心に残っています。

人間の悲しさ、人間らしく生きることにむずかしさ、そのかげで泣く人々の多い社会の矛盾をも訴えているのでした。

「女であること」私はいつも理想を高く持つことで、自分に勇氣と努力を心がけるようがんばってきました。

自分のうちにある可能性をどこまで引きだせるかと考えると、何事に対しても興味がいってきます。

はじめてこの「女であること」を読んでみたのは二十歳のときでした。

さかえの自由に生きるその姿勢には、夢と若さがありひかれるもの

がありました。

でも今回読んだときには、市子の妻として、女としてのしつとりとした生き方に感動しました。

「体の中を風が吹く」

女の人が仕事を持ち、子供と家庭を守っていくということは、とても大変なことだと思いました。

仕事をしているときは、人と人で相対されなければならぬと思えます。男と女であっても、女が人になり、男が人になれたときはじめて仕事になるのだと思いました。

けれど、母親であることだけは捨てられないことです。私も母であることの責任の重さに耐えきれないときがあります。

仕事は家事とはまた違った深さを持つていたことを知りました。もし私が男であったなら、子供のことや家事一切を任せて仕事にうちこめるだろう。そうすれば、どんなにか救われた気持ちになるだろうに。

でも悲しいかな、母であることはどうしても切ることができません。「母と子の絆」を強く結ぶ、とよく聞くことばですが、少しづつ私の胸に強くひびいてくるようになった気がするこの頃です。

これからも良い本をどんどん読んでみたいと思っています。

読んでみたいと思っています。

調査員が伺います

工業統計調査にご協力を

通商産業省では、今年も十二月三十一日現在で「昭和五十三年工業統計調査」を行います。

この調査は、製造業を営むすべての事業所と、その本店・支店の対象に実施されるもので、わが国の統計調査の中では国勢調査と並ぶ最も重要な調査の一つです。年末年始のお忙しい中を調査員が伺いますが、ご協力くださるよ

うお願いいたします。

この調査によってわが国製造業の実態や、製造活動の状況が明らかにされるほか、調査の資料は国民生活の中でも広い分野で活用されます。例えば、都市開発、下水道整備計画などの資料になり、また、各種製品の生産、販売計画をみなさんが立てられる場合の参考にもなります。

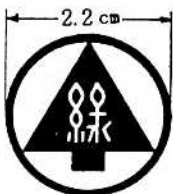


提出された調査票は、統計以外の目的に使用することは絶対ありませんので、調査票にはありのままをご記入ください。

育林運動の

ポスター募集

育林運動



1979

国土緑化推進委員会では、国土緑化運動の一環として育林運動ポスターの原画を募集します。

ポスターのデザインは、育林・自然保護などの愛林思想の高揚を強調したもので、条件として次の標語・文字・記号を記入しなければなりません。

育林にかける情熱明い未来
主催 国土緑化推進委員会・都

道府県緑化推進委員会
後援 林野庁・営林局・営林支局・都道府県

※図のマル枠（わく）と木の色は濃緑とする。

色は五色以内で創作に限り写真を使ってはいけません。

・応募資格：一般。

締め切り：昭和五十四年一月末日（期限厳守）

送付先：〒一〇一

東京都千代田区平河町二一七
砂防会館内

国土緑化推進委員会
入選・佳作には賞状のほか、それぞれ次のような賞金も贈られます。

入選 一席 一名 三十万円

同 二席 若干名 一点につき 二万円

佳作 若干名 一点につき 一万円

その他、用紙、注意事項など詳しいおたずねは役場の産業振興課（有線二二六一番）へ。

今年も寒い冬がやってきました。日本の冬が寒いのは、シベリアから寒波が押し寄せてくるため、風が強いばかりでなく、湿度も下がって異常乾燥するからです。

こんな時期は体も一段と寒く感じて冷えやすいわけです。

このような特徴をもつ日本の冬から健康を守るには、なんといつても保温が一番、この冬を暖かく過ごすためのあの手この手を考えてみました。

体内からの暖房を

冬の暖房は暖房器具に頼るだけでなく、体内からの暖房も必要です。それに

は、スポーツなど運動によって熱エネルギーをつくり出すこと、その原料である栄養をとることです。

特に魚・肉・豆類などに含まれるたんぱく質は生理的な耐寒能力を強めます。また、野菜や果物に含まれるビタミン類はたんぱく質がエネルギーに変わるために必要です。

空気を手上に着る

冬になれば当然防寒衣が問題となりますが、あなたは厚くた

暮らしと健康



冬を乗り越える

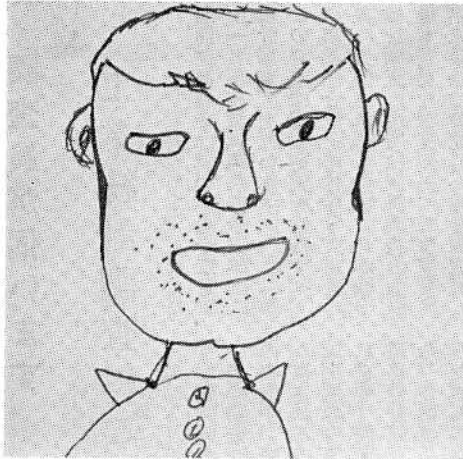
くさん着ればよいと考えてはいませんか。衣類を効果的に着るには、厚さよりもどのようにして保温効果の高い空気を着るかが問題です。そこで、軽くふっくら着るためには、薄くても気密に織った生地が、しかも清潔なものが保温効果が大きいといえます。

夜は暖かくして寝る

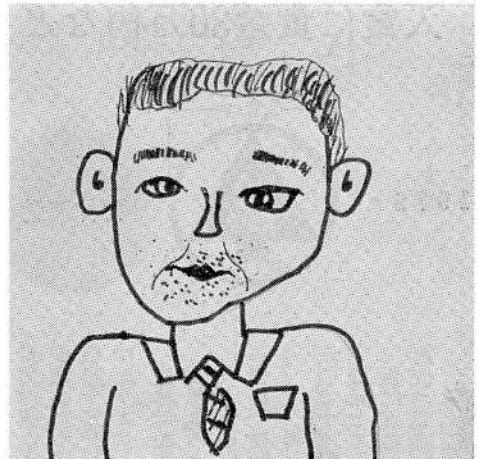
体が冷えていると寝つきが悪く寝るためには、足を暖めるだけでなく肩の保温も大切です。まくらなどを工夫して首まわりのすきま風を防ぎましょう。

最近、電気毛布を使う家庭が増えています。就寝直前にスイッチを入れるよりも二〜三時間前から保温し、就寝時に低温に調節して寝るのがよいようです。

敷布団と掛け布団との関係では、掛け布団を多くかけるより敷布団を厚くする方がよいでしょう。



越原小二年 村雲 滝夫
陰地 村雲和男さん 長男



神土小二年 安江 由次
平 安江謙二郎さん 二男

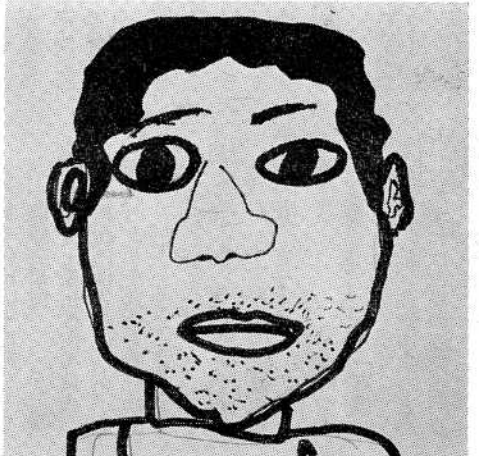
似てるかな

ぼくと

わたしのおとうさん



神土小二年 田口 佳澄
西洞 田口節春さん 二女



五加小二年 今井 俊太
柏木 今井怜さん 二男

暮らしのカレンダー

*剣道初げいこ

- とき 昭和54年1月1日
- ところ 東白川体育館
体協剣道部・中学剣道部など初げいこを行います。

*新春バスケットボール大会

- とき 昭和54年1月2日
午前9時から
- ところ 東白川体育館
中学校卒業年度別にチームを編成します。ふるってご参加を。

*新春バレーボール大会

- とき 昭和54年1月3日
午前9時から
- ところ 東白川体育館
中学校卒業年度別、男女混合でチームを編成。

*成人式

- とき 昭和54年1月15日
午前10時30分から
- ところ 村民センター
- 48年度卒業生72人が該当。現在村内には11人が在住。

*妊婦学級（前期）

- とき 昭和54年1月17日
午前9時30分から
- ところ 村民センター
- 対象者 妊娠前期の人

*二種混合予防接種

- とき 昭和54年1月18日
午後1時30分から
- ところ 東白川病院
- 対象者 S49.11.1~51.10.31生れの未接種者と追加。

*子供会卓球大会

- とき 昭和54年1月21日
午前8時30分から
- ところ 東白川体育館
小学生が各地区ごとにチーム編成し試合します。ご声援ください。

*母親学級

- とき 昭和54年1月23日
午前9時30分から
- ところ 村民センター
- 対象者 6~12か月児をもつ母親。

*栄養教室

- とき 昭和54年1月26日
午前9時30分から
- ところ 村民センター
- 対象者 53年度教室生



「会を通じて楽しみながら話し合い、よりよい仲間づくりをめざそう...」

△ 月例会
初一さん(平)以下三十人余りが熱心に腕をみがいています。

クラブの活動は月二回

民俗風俗あれこれ

社会生活



一村誌編さん室だより

村の起り (二)

野山を開拓したムラの基礎を築いた家を草分けといい、ムラの構成上の支配的存在であった。草分け百姓を隠田百姓などといわれているが、これは戦乱の世において、落武者などが従者とともに山中の谷合い深く分け入ってそこを伐り開いたいわゆる隠田に由来するもので、神土那好家の始祖安江佐衛門尉正昭などもその一人である。

昔は、落人伝説とともに源氏や平家にゆかりのあることを名乗るものが多かった。

例えば、中世におけるこの村でかわりのあつた人の名を二・三ひろってみると、嘉慶二年(一三

八八)に白山妙理犬権現(現神田神社)を再興した・源忠広、また前述那好家に伝つてきた御蔭野威徳寺旧蔵の般若若経六百卷の奥書に見られる、平・道達・平貞宗などがあり、いずれも源、平にゆかりを持つ人びとである。

いずれにしても、この村の草分けといわれている家の家系を探ってみると、中世期またはその子孫で、それらは多かれ少なかれムラの指導的地位にあって、今日の村落の基盤を築きあげた人びとである。

近世初頭に至り、従来の郷・庄などという呼称から村という地域単位の支配機構ができると、従来の各ムラムラもその支配下におか

(五日・二十日)の月例会と、年に一度の大会です。この年一回の大会は、個々の力にあわせた組み合わせで行われています。

そのほか、より上達できるようにと白川町から講師を招き基本作法などの指導も受けています。発足当時は有段者は一人もありませんでしたが、熱心な態度でと

趣味のグループ

有段者が指導

あなたも囲碁が楽しめる

り生まれ、現在会長の安江さんをはじめ四人の有段者ができ、初心者への指導にあたっています。また、公式な段級試験を受けて

いないだけで、実力は初段・二段という人も多いようです。囲碁は先の先まで読みしかも相手のあるものですから、一番終えるまでに相当時間がかかります。

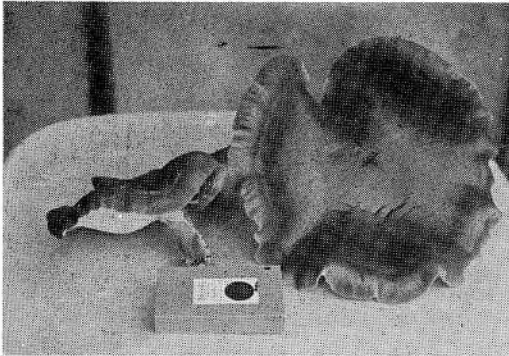
ですら、一番終わったあとの疲労感も想像以上のようです。囲碁クラブでは入会者を求めています。もちろん年齢・性別には関係なく、だれでも入会することができます。この機会にあなたも囲碁クラブへ入会してみたいかがでしようか。

特に最近では女性で囲碁を習い始めている人も多く聞きます。編み物やお花などひとと味がたおもしろみが女性にもうけているのでしよう。

申し込みは、会長の安江初一さん(平)、または庶務会計の桂川眞弘さん(平)、嶋倉捷司さん(大明神)へ。

▼今月の料理▲

ほうれん草と卵のスープ
材料(四人分) ほうれん草...三
百粒、卵...二個、スープ...三
片栗粉...小さじ3、塩...小さじ
1/2、塩、化学調味料
作り方 ①ほうれん草は葉
だけつみとってゆでる。②卵は
ほぐし、分量の塩、片栗粉を水
大さじ一ばいどといてませ合わ
せてうす焼き卵を四、五枚焼
き、五、六センチ長さの細い線
切りにする③スープ鉢の中央に
①の周囲に②を盛る。④スープ
に塩と化学調味料で調味し、熱
いところを③の上からそそいで
すめる。※貧血の予防食とし
て、ぜひ食卓に!



びっくり

しいたけの大親分

今年の天気に関係しているのかどうかはわかりませんが、前号の三つまたのまつたけに続く菌類界の突然変異、大しいたけ。

このしいたけは、かさの直径が19cm、重さ 255gもありしいたけの大親分ともいえる大きさです。

比べてあるのは、昭和39年に日本で開催された東京オリンピック記念に発売された、シヨートピース(たばこ)の箱です。

—写真提供は広報モニター 金尾竹雄さん—

トピックス トピックス

白川美人

信長まつりに花添える

秋の大祭「第22回ぎふ信長まつり」の装飾自動車パレードに、平の島倉茂さんの長女シキ子さん(21歳)が加わり、行列に花を添えました。

シキ子さんは、歯科衛生士として現在岐阜県庁内に勤務中。数多くの応募者(84人)の中から「ぎふ信長まつり」の準ミスとして選ばれたものです。

シキ子さんは10月6・7・8の3日間、むかし姿のふん装こそありませんでしたが、終始華やいだふんい気の中で「白川美人」としての気を吐いてくれました。

一写真向って左がパレード中のシキ子さん



—係から—
今回は季節の話題はお休みし次回からは続けます。
◇ 村外や東京村人会のみなさんからのお便りや村内でのめずらしい話題、ニュースをお知らせください。お待ちしています。



あなたの作品をお寄せ下さい

- ・初心者、特に若い人達の投稿を歓迎します。
- ・毎月末までに神戸田口良三宛に出して下さい

元号はやまとの国の誇りゆえ都合一つで捨てたくなし
 大田神 大江 玉欣
 葉質の悪きもいとはずひたすらに葉食む初冬蚕は日にふとり
 神付 早瀬 勇造
 つつ 登りゆくスカイラインは夷やけし白山連家雄大にして
 神山 安江 幸
 柳山 桂川 利子
 ゆく秋を惜しむがに啼く蟋蟀の湯殿に近く声ときれつつ
 神山 加藤 公一
 四斗俵扱ひ馴れし身にも今三十キロの米は重たし
 神付 早瀬 勇造
 十年余を淋しく暮す病床に慰めくるるテレビは日日に
 神付 早瀬 勇造
 転作の意味なくなりし豊作に喜びかくせず農の吾は
 神付 早瀬 勇造
 日和良く豆の脱殻終りたる夕餉愉しく心安らぐ
 平 安江 耕
 修学の旅行間際に病み臥せし孫よりも吾はあきらめ難し
 平 今井 惣十
 まぶしかる電灯の下に盆栽の手入れてし居る夫の後姿
 中丸 とめ
 中谷 小池 いちの
 川岸に子等の遊べるリール竿水に飛沫きて肌身の寒し
 平 安江 守平
 お彼岸の墓参の道辺秋草の名知らぬ中にヤマハトトギス
 平 伊藤 重雄
 米穂るな滅反せよとの世の中に落穂拾へり明治の我は
 西岡 村雲 伝三
 親猫の耳びくびくと動き居り日向に臥せし子猫の傍に
 官代 今井 米子
 母在りし夢醒めて聴く鳥の声秋の深みの床離れ難し
 官代 古田 光男
 刈られ居る老の婆姿羅の霜髪が煙のごとくふわふわと落つ
 田口 良三